



2/9 Hirado City Photo News
しおかぜを浴びて快走



生月島の東岸を駆け抜ける「いきつきロード2025」大会が開催されました。

今回は、小中学生から一般、ファミリーの部まで、全22種目に市内外から約500人が出場し、鹿町工業高校自転車競技部の先導のもと、日ごろ鍛えた健脚を競いました。

また、招待選手として県内の実業団や陸上名門校で活躍する選手も参加し、参加者らを励ましながら一緒に走る姿が見られ、ゴールを目指す選手たちに沿道から温かい声援が送られました。

2/8 Hirado City Photo News
天使の歌声に感動の涙



多目的研修センターで、「天使の声 掛屋剛志コンサート」が開催されました。南部地区のまちづくり運営協議会で構成する「奥ひらどまちづくり運営協議会連合会」が開催したもので、多くの皆さんが掛屋さんの透き通る歌声を聴きに訪れました。

掛屋さんは、視覚など複数の障がいを抱えながらも、幼いころに音楽の才能を開花させ、全国でピアノの引き語りで多くの皆さんに感動を与えています。

終盤には、掛屋さんの伴奏で、ひまわりコーラスの皆さんと来場者が南部中学校校歌を合唱しました。

1/25 Hirado City Photo News
まちづくりの未来を語ろう



平戸市未来創造館で、「平戸市まちづくりトークセッション」が開催されました。

麗澤大学、筑波大学の学生と生月、山田・館浦、紐差各まちづくり運営協議会（まち協）が連携して取り組んだワークショップで明らかになった成果・課題の発表と、津吉、生月、野子各まち協の事例発表をもとに意見が交わされました。

まち協の発足前からアドバイザーを務める梅元建治氏（ナガサキベイデザインセンター代表理事）は、先進事例地としての発信に期待を示しました。

1/24 Hirado City Photo News
平戸の冬の風物詩、平戸ひらめ



志々伎漁協で平戸ひらめまつり出荷式が行われ、志々伎漁協と平戸観光協会の皆さんがヒラメの出荷に向かうトラックを見送りました。

この時期のヒラメは産卵前で脂がのっており、志々伎漁協では1kg以上のヒラメを「平戸ひらめおがみ」と名付けブランドとして売り出しています。

3月16日まで開催される平戸ひらめまつりでは、主に「平戸ひらめおがみ」が使用され、市内の宿泊施設や飲食店で開催されており、ヒラメの刺身や、フライ、ピザなど、さまざまな料理が楽しめます。

2/16 Hirado City Photo News
1年間の活動を報告



平戸市ふれあいセンターで平戸市地域おこし協力隊活動報告会が行われ、市内外から約80人が参加しました。

活動報告では、地域おこし協力隊として平戸市にきた背景や活動の成果、今後の目標についてそれぞれ発表しました。

3月末で退任する齊藤隊員と古家隊員からは、これまでの活動に対する感謝の気持ちを来場した皆さんへ伝えました。

※退任のあいさつは11ページに掲載しています

2/14 Hirado City Photo News
中部地区放課後児童クラブ完成



紐差地区に「平戸中部地区放課後児童健全育成施設」（放課後児童クラブ）が完成しました。

仕事などで昼間保護者が家庭にいない児童に対し、放課後や夏休みなどに適切な生活や遊びの場を提供する施設として、4月から利用されます。

開所に先立ち開催された落成式では、「平和の園 児童クラブ」として運営にあたる（社福）聖婢姉妹会の島本藤子理事（東和愛児園園長）が、「児童の健全な育成に努めたい」との吉永豊子理事長からのメッセージを伝えました。

2/1 Hirado City Photo News
早期開通へ一丸となる



平戸文化センターで、「西九州自動車道建設促進大会」が開催されました。

西九州自動車道の全線完成への決意を表すため開催しているもので、平戸市での開催は3年ぶり。

令和7年度に開通が予定されている「松浦IC～平戸IC」間や、3月23日から4車線化される「佐々IC～佐世保大塔IC」間の進捗状況が報告されました。

地元意見発表では、下中津良町で美容室を営む高野有美さんが、「災害が起こった際、すぐに支援を受けることができる」と重要性を訴えました。

1/26 Hirado City Photo News
長崎VELCAのコーチが指導



平戸小学校体育館で長崎VELCA「平戸市バスケット体験教室」が開催され、平戸市内の小学生16人が参加しました。

この日は、長崎VELCAバスケットボールスクールの太田コーチと山田コーチが参加し、相手や周りの状況を見て身体だけでなく頭を使ってプレーすることをトレーニングの中で学びました。

最後は3チームに分かれて試合を行い、練習で学んだことを実践。シュートが決まると、会場は大きな歓声で盛り上がりました。